

国語科学習指導案

実施学級 第2学年 2組 41名

実施日時 令和7年11月18日 5時限

実施場所 2年2組

指導者 高見 董

1 単元名 いにしへの心にふれる

2 単元目標

- ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。
- ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を理解することができる。

3 評価の観点

観点	評価観点別目標
知識・技能	・作品の特徴を生かして朗読し、古典の世界に親しむことができる。 ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を理解することができる。
思考・判断・表現	・登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈することができる。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとすることができる。

4 単元全体の指導計画（全10時間）

第一次	①/10	授業名	「平家物語」の世界に親しみ、音読を楽しもう
		ねらい	「平家物語」の冒頭部分を朗読し、概要を押さえ、作品の世界に親しむ。
		「深い学び」への指導ポイント	昨年度の朗読を振り返り、教材や資料動画で古典作品への理解を深めさせる。
第二次	②③④/10	授業名	扇の的—「平家物語」から
		ねらい	「扇の的」の内容を捉えるとともに、登場人物の言動からその心情を考えさせる。
		「深い学び」への指導ポイント	登場人物の思いや行動の中で、その言動がもつ価値を認識させ、自分の考えを持たせる。
第三次	⑤⑥⑦/10	授業名	仁和寺にある法師—「徒然草」から
		ねらい	仁和寺の法師の勘違いの内容から、作者のものの見方や考え

			方、人物像を捉えさせる。
		「深い学び」への 指導ポイント	自分の生活や体験と結び付け、考えを述べさせる。
第四次	⑧⑨⑩/10	授業名	漢詩の風景
		ねらい	漢詩に描かれた情景や心情を読み取るとともに、漢詩の特徴を理解させる。
		「深い学び」への 指導ポイント	漢詩の特徴をおさえるためにペアで朗読を行わせる。

5. 本時（第1次 1時間目）

(1) 本時の指導目標

観点	目標	手立て
知識及び技能	○作品の特徴を生かして朗読し、古典の世界に親しんでいる。 ○現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。	全体だけでなくペアやグループでも朗読を行い、「平家物語」の冒頭部分の内容を捉えさせる。
主体的に学習に取り組む態度	○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	古典に表れたものの見方や考え方を知り、今までの学習を生かして朗読させる。

(2) 教材

教科書（国語2 光村図書）・ノート・タブレット端末・モニター

(3) 学習指導場面の工夫

学習形態	場面・工夫
一斉指導	資料映像や画像を使用し、「平家物語」の登場人物の関係などを理解させる。
個別最適な学び	ICT 端末を使って教科書の朗読音声を聴くことで、個々で歴史的仮名遣いの確認や特徴を理解させる。
協働的な学び	ペアやグループで朗読し、古典に表れたものの見方や考え方に関する自分の考えを深めさせる。

